

宮脇昭先生を囲んで！「はい！タブノキ！」（2014.11.23）

おかげさまで9年目！苗木の出荷本数 16万本 突破！

私達の「いのちの森づくり」プロジェクトは、宮脇昭先生はじめ多くの皆様のご指導ご支援を得て、お陰様で9年目を迎えました。

どんぐりを拾い木の実を集めて幼苗を育て、苗木の出荷を始めてからは7年目、出荷本数は16万本を超えました。植樹活動を通じて、障害のある方々の自立・就労支援を目的として、「福祉・環境・教育・労働」の連携も徐々に進み、大きな手応えを感じています。

これからも、他の連携福祉施設「どんぐりブラザーズ」の皆さんとも協力して苗木を育て、植樹・育樹活動に取り組んで参ります。

	苗木の出荷本数
2009	11,986本
2010	24,243本
2011	28,064本
2012	39,650本
2013	38,607本
2014	22,489本
累計	165,039本 内、「友の会」基金活用分 ⇒ 52,950本

どんぐりブラザーズの活動（福祉施設間の連携）

I. 苗木の栽培作業

進和学園では、大型ハウス3棟（どんぐりハウス・まじえるハウス・ころころハウス）にて、約80種類、8万本の苗木を栽培しています。

また、私達から他の福祉施設に、苗木の栽培作業を委託し、障害者の「就労の場」を創り出して工賃に還元しています。研進&進和学園スタッフが、知識やノウハウを提供し、栽培上の技術指導をさせて頂いています。現在（2015年3月末）、5つの福祉施設が「どんぐりブラザーズ」として、苗木の栽培に励んでいます。

- | | | |
|------------------------------------|------------|-----------|
| ①社会福祉法人進和学園（就労継続支援A・B型／生活介護：平塚市） | ：2006年10月～ | 約 80,000本 |
| ②社会福祉法人湘南の風・えいむ（生活介護：逗子市） | ：2012年 4月～ | 約 3,000本 |
| ③社会福祉法人県央福祉会・パステルファーム（生活介護：相模原市） | ：2012年10月～ | 約 1,200本 |
| ④NPO法人パソボラサークル（就労継続支援B型：小田原市） | ：2013年 2月～ | 約 11,000本 |
| ⑤社会福祉法人よこすか黎明会・横須賀ヘーメット（生活介護：横須賀市） | ：2014年10月～ | 約 300本 |

社会福祉法人 県央福祉会 パステルファーム ワーキングセンター 施設長 川田 雪野 （生活介護事業所／相模原市）

どんぐりブラザーズに参加して

パステルファームは、どんぐりプロジェクトに参加して3年目です。昨年、初めて苗が旅立って行きました。みんな、今はどんな空を見上げながらこの土地に根を張っているのだろうと、パステルに残っている苗達を見て思い出します。研進・進和学園の皆さん達が、子供達を慈しむように苗を育てていらっしゃる気持ちが、旅立ちに立ち会って少し分かったような気がしました。

宮脇先生の「いのちの森づくり」と出会い、障がいのある方達が、自分達の手で小さな命を慈しみ育て、その命が各地で根を張り、木陰を作り新しい命の棲家となる。そんな力強い運動に参加させて頂いていることに大きな意義を感じ、感謝の気持ちで一杯です。



川田さん（左） ボランティアの長野常司様と
パステルファームの育苗ハウスにて（2015.2.6）



パソボラサークル 露地栽培（2014.7.9）

2



湘南の風 屋上での苗木栽培（2015.3.16）

進和学園「どんぐりハウス」（2014.9.16）

Ⅱ. 育樹（除草）作業

植樹後2～3年間は、雑草により日照が遮られ、つる性植物の被圧等により苗木の生長が阻害されるため、定期的な育樹（除草）作業が必要です。自然淘汰に委ねられる樹高1.5～2mに達するまでの間、育樹作業を「どんぐりブラザーズ」の皆さんと協力して行っています。

公共の森については、「いのちの森づくり基金」が、労賃の貴重な原資として活用されています。一方、（株）トヤマ様の新工場植樹地（神奈川県山北町）等の民間植樹地については、有償で作業を請け負わせて頂いています。現在、次の福祉施設が育樹（除草）作業に従事しています。

①社会福祉法人進和学園（就労継続支援A・B型／生活介護：平塚市）

②社会福祉法人湘南の風・えいむ（生活介護：逗子市）

③社会福祉法人小田原支援センター（就労継続支援B型：小田原市）

④NPO法人パソボラサークル（就労継続支援B型：小田原市）

⑤社会福祉法人足柄緑の会・コスモス学園（就労継続支援B型：南足柄市）

⑥NPO法人時ノ寿の森（掛川市）仲介による掛川市内福祉施設

（社会福祉法人掛川芙蓉会・掛川工房つつじ&あいあい学園、社会福祉法人草笛の会・だいとう作業所）



国道134号線高浜台沿道 育樹作業
進和学園のメンバー（2014.12.16）

：国道134号線沿道植樹地 他

：湘南国際村めぐりの森

：小田原・荻窪森林再生プロジェクト 他

：トヤマ平成の森 他

：トヤマ平成の森 サン・ライフの杜

：掛川市植樹地／海岸防潮林

社会福祉法人小田原支援センター 支援員 小沢 太嘉志

（就労継続支援B型事業所／小田原市）

進和学園様・研進様とは、ホンダ車部品の仕事でお付き合いをさせて頂いております。自動車部品の組立は、決まった工程、安定した作業量の確保という点で、安心して取り組める作業であり、ホンダさんの仕事の一端を担っているという誇りと責任を感じています。

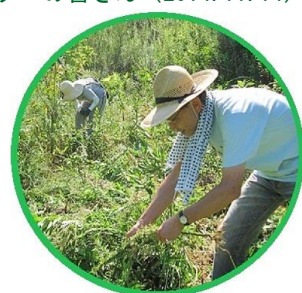
一方、作業の多角化の一環として育樹活動にも参加させて頂くこととなりました。育樹は、屋外でみんなで一緒に汗を流し泥だらけになることで一

小沢さん（中）と進和学園スタッフ
「しんわルネッサンス」にて（2015.3.4）

感が生まれ、その場ですぐに成果を確認できるので達成感にも満たされます。参加した人は、笑顔と自信を手に入れ、一回り大きくなれます。苗だけでなく、人の成長も確かめられる魅力があります。人も森も受け継がれていくことで大きな成果を生むと思います。今後も、一緒に取組んでいくことが出来れば幸いと思っております。



サン・ライフの杜（小田原市）育樹作業
小田原支援センターの皆さん（2014.11.14）



湘南国際村めぐりの森 育樹作業（2014.10.24）
湘南の風・（株）大川印刷の皆さまと研進メンバー



トヤマ平成の森（山北町）育樹作業
パソボラサークル&コスモス学園の皆さん
（株）トヤマ社長の遠藤敬介様を囲んで（2015.2.3）



2014 年度の植樹・育樹活動から



東北復興の森づくり／瓦礫を活かす森の長城プロジェクト

東日本大震災で甚大な被害を受けた東北沿岸の森林再生プロジェクト。震災瓦礫を地球資源として活用しマウンドを築き、災害に強い「その土地本来の木による森の防潮堤」を構築、亡くなられた方々の鎮魂と震災の記憶を後世に繋ぐ意義深い森づくりです。

・宮城県岩沼市・千年希望の丘植樹祭

2014 年 5 月 31 日、約 7,000 名が宮城県岩沼市・千年希望の丘に集い、国内最大級の 7 万本植樹祭が開催されました。本プロジェクトを提唱された宮脇昭先生（横浜国大名誉教授）のご指導の下、官民協働による素晴らしい植樹イベントとなりました。

進和学園では、東北産のどんぐりや木の実から苗木を栽培していますが、今回、1,610 本の苗木の出荷が実現しました。また、進和学園・研進の代表 4 名は、植樹祭の準備から参加し、3 日間に亘り地域の方々と交流しながら作業に励みました。

・南相馬市鎮魂復興市民植樹祭

2015 年 3 月 29 日、福島県南相馬市での植樹祭には、2,900 名が参加し 2 万本の苗木を植えました。今回も「瓦礫を活かす森の長城プロジェクト」様のご支援を得て、進和学園栽培の苗木 1,740 本をご利用頂きました。その内の殆どは、横浜ゴム（株）茨城工場様より譲り頂いて進和学園が栽培を引き継がせて頂いた苗木です。

また、環境まちづくり NPO エコメッセ様からの「いのちの森づくり基金」へのご寄附 20 万円を不足資金に充当させて頂き、苗木 444 本の提供が実現しました。



岩沼市植樹祭（2014. 5. 31）



南相馬市植樹祭（2015. 3. 29）
～東北被災地の復興を祈って！～

湘南国際村めぐりの森 ～ 進和学園の苗木累計 25,806 本植樹 ～

神奈川県横須賀市の湘南国際村 B・C 地区は、開発計画が見直され、2010 年に三井不動産より神奈川県に無償譲渡され、「湘南国際村めぐりの森」の名称で森林再生を目指す計画を策定。官民一体となった「協働参加型めぐりの森づくり推進会議」が主体となって活動を展開しています。

宮脇昭先生ご指導による潜在自然植生による「森づくり」が有力な手法として導入され、毎年の植樹祭により植樹本数は 4 万本を超えています。

関係者のご理解とご支援により、進和学園の苗木を多数ご利用頂いており、累計植樹本数は、25,806 本（2015 年 5 月 10 日現在）となります。

・第 9 回湘南国際村めぐりの森植樹祭

2014 年 5 月 6 日に開催された植樹祭には、600 名以上が集いました。今回も、「その土地本来の木による本物の森」を再生しようと、広葉樹 22 種類 3,000 本の苗木を植樹。その内、（株）サン・ライフ様と三井住友海上火災保険（株）様のご協賛を得て、進和学園の苗木 1,563 本をご利用頂きました。

・湘南国際村めぐりの森・育樹イベント

2014 年 11 月 9 日の育樹イベントは、雨天の予報を覆し明るい陽射しに恵まれ、参加者約 45 名の皆様による「森づくり」を通じた貴重な交流の機会となりました。

同地では、これまで 4 万本以上の苗木を植えて来ました。植樹後 2～3 年間は、雑草の生長が早く日照を遮ってしまうことから、育樹（除草）作業が必要となります。地盤が固いこの土地では、通常より苗木の生長が遅く育樹期間も長期化しています。私達は、どんぐりブラザーズの「湘南の風」及び（株）大川印刷（横浜市）の皆様と力を合わせ、育樹に精を出しています。

この日は、NPO 法人 GoodDay 様と三井住友海上火災保険（株）様が、ご提供下さった進和学園の苗木 300 本を補植した後、雑草の除去作業に爽やかな汗を流しました。



・どんぐりブラザーズと植樹大作戦 (P.1、12 参照)

2014 年 11 月 23 日、テレビ神奈川様と進和学園が主催した植樹祭は、「どんぐりブラザーズ」(連携福祉施設)が主役を務める植樹イベントとして企画し、多くの皆様のご支援により大きな成果を挙げることが出来ました。

ラッシュ・ジャパン様をはじめご協賛ご後援頂いた皆様に厚くお礼申し上げます。(右：神奈川新聞-2014. 11. 24-)

主催：社会福祉法人進和学園／株式会社テレビ神奈川

協賛：進和学園いのちの森づくり基金

[株式会社ラッシュジャパン、株式会社サン・ライフ、本田技研工業株式会社、株式会社トヤマ、三菱重工業株式会社横浜製作所、日本生命労働組合平塚支部] 横浜銀行、NPO 法人グリーンパワーファクトリー、三井住友海上あいおい生命保険株式会社、NPO 法人 GoodDay

後援：神奈川県、横須賀市、神奈川新聞社、NPO 法人国際ふるさとの森づくり協会、協働参加型めぐりの森づくり推進会議

神奈川県・逗子市・豊島区 ～ 官公需の優先発注に感謝！～

国・県等の行政が障害者が働く福祉施設等から積極的な物品購入や発注を求める「障害者優先調達推進法」が制定されています。同法に基づく「官公需の優先発注」が、障害者の自立支援にとって重要課題とされています。

・国道 134 号線唐ヶ原側道防砂・防潮林植樹祭 (主催：神奈川県平塚土木事務所)

2014 年 11 月 29 日、神奈川県平塚土木事務所より、国道 134 号線 4 車線化工事に伴い、唐ヶ原沿いの防砂・防潮林用に進和学園栽培の苗木 400 本を優先発注頂きました。私達が育てた苗木が環境保全並びに防災にお役に立つこととなりました。

平塚土木事務所との連携による植樹は、赤井かずのり県議会議員のご尽力と同事務所のご支援の下、2009 年より始まり 6 年目を迎えています。これまで、国道 134 号線の相模湾沿岸を中心に植樹し、優先発注頂いたのは、高浜台、袖ヶ浜に続いて 3 回目／累計 1,200 本となります。



地域の子供達と赤井かずのり県議会議員 (右から 2 人目)、平塚土木事務所の鈴木仁所長 (右) (2014. 11. 29)

・逗子市第一運動公園の植樹



2014 年 10 月 9 日、逗子市第一運動公園の野球場隣接地の植樹用として、苗木 705 本をお届けしました。逗子市からは、環境ボランティア「ほととぎす隊」の皆様の親身なる仲介により、5 年連続で進和学園の苗木をご発注頂いています。これまで、逗子小学校、久木小学校、蘆花記念公園等において、「自然の森」を育む地道な緑化活動が実践され、進和学園栽培の苗木を多数ご利用頂いています。

逗子市「ほととぎす隊」の皆様と (2014. 11. 9)

森づくり 福祉施設連携

湘南国際村 植樹祭に 250 人



福祉施設の連携で森づくりに取り組んでいる障害者グループ「どんぐりブラザーズ」などによる植樹祭が 23 日、横須賀市の湘南国際村で開かれた。社会福祉法

外 10 施設の障害者で構成。宮脇名誉教授の指導を受け、どんぐりブラザーズは、進和学園を中心に湘南の風 (逗子市)、県史福祉会 (大和市)、時ノ寿の森クラブ (静岡県掛川市) など県内

タフノキ、シラカシなど 23 種類千本の植樹を行う障害者グループ湘南国際村入進和学園 (平塚市) とテレビ神奈川が主催。県内 6 施設約 80 人の障害者とボランティアら計約 250 人が、宮脇昭・横浜国大名誉教授の指導を受けて、タフノキ、シラカシなど 23 種類千本の植樹を行った。どんぐりブラザーズは、進和学園を中心に湘南の風 (逗子市)、県史福祉会 (大和市)、時ノ寿の森クラブ (静岡県掛川市) など県内



販売、植樹、育樹を行っている。県内のブラザーズのほとんどが集まったのは今回が初めて。メンバーとボランティアらは、宮脇名誉教授の熱の入った講演、指導を聞いた後、湘南国際村に残っている開発跡地に苗を植えていった。植樹には初参加という湘南の風利用者の佐藤陽平さん(33)は「植えるにはこつが必要で思った以上に大変だった。自分にとっても良いことをした」と満足げな様子だった。(熊谷 和夫)



国道 134 号線 (平塚～大磯) 4 車線化完成式典 黒岩祐治神奈川県知事 (右から 2 人目)、赤井かずのり県議会議員 (右)、森正明県議会議員 (左から 3 人目) と一緒に (2015. 3. 1)

官公需の
優先発注
お願い！



・豊島区（東京都）「グリーンとしま」再生プロジェクト



人口密度日本一の東京都豊島区では、限られたスペースを活用して町のいたるところに緑を増やす緑化プロジェクトを推進。本取り組みが開始された 2009 年より、進和学園と研進もメンバーに加入していますが、毎回、関係の皆様のご理解ご支援を得て、私達が育てた苗木を活用頂いています。

2014 年度も、10 月 3 日に行政から区民へ配布される予定の幼苗 507 本をお届けしました

企業・民間緑化／「どんぐりブラザーズ」へのご発注に感謝！

障害者の自立支援のためには「官公需」に加えて「民需」の確保が欠かせません。企業からのご発注及び福祉施設の自主製品をご利用頂ければ幸いです。「どんぐりブラザーズ」の苗木を活用頂いた植樹事例を紹介します。

・ワタミ（株）様による植樹活動

居酒屋「和民」で有名な同社は、広く社会貢献活動を展開されています。NPO 法人、更には公益財団法人を設立して「ワタミの森」（千葉県他）の森林再生にも取り組まれ、社員の皆様が衰弱した杉林を間伐し植樹、苗木は進和学園にご注文頂き、大きな励みとなっています。

また、宅配弁当の新工場「手づくり厨房東松山センター」（埼玉県比企郡）では、2011 年の落成記念植樹祭に進和学園の苗木 1,400 本を植樹。それ以降も私達が育てた苗木を定期的にご利用頂き、社員の皆様による企業緑化に努めておられます。



・トヤマ平成の森

（株）トヤマ様（放射光関連機器メーカー）は、神奈川県山北町に新社屋・工場を建設され、周囲に自然の森を創生すべく取り組まれています。

2014 年 10 月 5 日、前年に続き植樹祭が開催されました。台風 18 号が接近する荒天でしたが、社員・ご家族に地域及び一般参加者合わせ 360 人が集い、約 6,000 本を植樹しました。トヤマ様には、2 回の植樹祭で、進和学園栽培の苗木を 1,700 本以上ご利用頂きました。

更に、同社のご厚意により、植樹地の育樹（除草）作業を「どんぐりブラザーズ」の仕事として継続的にご発注頂いており、障害のある方々の働く場の提供及び工賃還元に大きく貢献頂いています。



トヤマ平成の森 植樹祭（2014.10.5）
台風にも負けず、皆で頑張りました！

・大正堂一たんの森



（株）家具の大正堂様では、本店の裏山の森林保全に際し、社員の皆様が地域住民の方々と協力して「森づくり」に取り組まれています。

この裏山は、昔より「道正山（ドウショウヤマ）」と呼ばれ、2014 年 7 月 26 日、「道正山の一たん」の森」と命名され、地元市民に開放するためのセレモニーが行われました。有難いことに、この森に植樹される苗木は、進和学園にご発注頂くと共に、私達は、「森づくり」をお手伝いさせて頂いています。

夢中でポット苗づくり
を行う子ども達
大正堂一たんの森（2014.7.26）

・「スーパーしまむら」様の緑地帯づくり

平塚の有名スーパー（株）しまむら様と進和学園との取引は、2010 年に始まり、店舗での「施設外就労」（バックヤード業務の受注）や学園及び福祉施設のクッキーや雑貨の販売を通じて、障害者の社会参加と工賃の確保に繋がっています。

また、同ストアー3 店舗（長持・旭・田村店）の緑地帯に、進和学園の苗木を植栽し「感謝」「笑顔」「真心」の文字が刻まれた陶板を設置、これも学園陶芸版が手掛けたものです。

しまむら様のご発注に、心より感謝申し上げます。



お買い物は
しまむら
ストアーで！



しまむらストアー旭店の緑地帯にて（2014.7.13）
役員の島村雅之様（後列右から 2 人目）も一緒に！

・上野洋一様ご自宅植栽イベント

2014年11月15日、私達は地元の上野洋一様のご自宅（平塚市真田）に集合！広大なご自宅敷地内において、自然の森を再生する「いのちの森づくり」の一環として、上野様のご家族、ご親戚、知人並びに近隣の皆様とご一緒に植樹イベントを開催しました。

土地開発が進み、この地域の自然林も次第に姿を消して行く中で、環境保全や防災にも役立つ「森づくり」の意義は大きいと言えます。

上野様のご厚意により、進和学園が栽培した苗木を多数ご利用頂きました。皆様と交流し協力し合いながら木を植える体験は、障害の有無を問わず、私達に大きな喜びをもたらしてくれます。



苗木と皆さんの成長を祈って、木の名前を連呼する恒例のセレモニー ご主人の上野洋一様 (2014. 11. 15)

学校の森づくり



「森づくり」は
「人づくり」！

「いのちの森づくり」は、福祉・環境・教育・労働の連携を目指しています。「学校の森づくり」は、未来を担う子供や若者の「教育」面で、豊かな情操と知見を育み人間力の養成にも繋がるため、高い価値観を掲げて取り組んでいます。いのちの森づくり基金が、植樹及び育樹に要する費用（苗木代金・障害のある方の労賃）の原資として活用されています。

・神奈川県立平塚盲学校

2014年11月27日、平塚盲学校の北側道路沿い校庭において、植樹イベントを開催。私達が栽培した苗木を中心に、視覚障害がある方にも楽しんで頂けるよう香りの良い花を付ける樹種も選び240本の苗木を植えました。

同校代表の生徒さんと先生、職員の方にも参加頂き、進和学園・研進メンバーと力を合わせての楽しい作業です。生徒さんは、ポット苗の葉・枝・花を手で触れて形を確認し、地面に穴を掘り1本1本を丁寧に植えて下さいました。



大地に木を植え、心に木を植える！

・横浜市立深谷台小学校

2014年10月9日、横浜市立深谷台小学校の「里山の森事業」の一環として、同校4年生の児童・先生方と進和学園メンバーが力を合わせ、校庭の一画に苗木74本を植える体験授業を実施。担任の岸孝子先生は、里山活動を通じて自然の大切さや植物の役割等を伝える環境教育に注力され、私達は、2014年3月の「総合的な学習の時間」からお手伝いをさせて頂いています。この日は、植樹体験と「森の勉強」を行い、児童の皆さんは元気に取り組んでくれました。



深谷台小学校の皆さんが、お手紙と植樹記録の手作り作品を送って下さいました！

・横浜市立汲沢中学校

横浜市立汲沢中学校において、2014年12月11日、「ドングリからの苗木づくり」授業が行われ、私達がお手伝いさせて頂きました。

校長の栗原史生先生は、「学校の森づくり」を続けることの意義を説かれました。講師のNPO法人国際ふるさとの森づくり協会の高野義武理事長は地球温暖化という人類共通の危機に直面する今こそ、二酸化炭素を吸収する木を植えることが大切であることを分かり易く解説しました。

また、研進スタッフから、進和学園の「どんぐりグループ」を紹介し、福祉施設で働く障害のある方々の状況もお話しさせて頂きました。1年生約160名は熱心に聴講した後、ドングリを育苗箱に撒く作業を体験。更に、ドングリ（アラカシ）の幼苗を、ポットに移し替える作業に挑戦しました。



汲沢中学校で行われた「ドングリからの苗木づくり」体験授業 (2014. 12. 11)

太平洋中で防潮林づくり

生徒ら1500本植樹

津波被害から身を守る防
潮林を育てようと、市立太
洋中学校（野口義嗣校長、
生徒数338人）で10月29
日、生徒と教諭が広葉樹の
苗木約1500本を校庭南
部、野球部などの生徒有志



校庭に苗木を植える太洋中学校の生徒たち

・平塚市立太洋中学校

2014年10月29日、平塚市立太洋中学校において、同校運動部、ISO委員会の生徒さんと先生、職員の皆様と協力して、「いのちを守る森づくり植樹式」を開催。

2014年3月に500本の苗木を植樹した校庭の一面に続いて、1,255本の苗木を植樹しました。何れも、(株)サン・ライフ様（平塚市）からのご寄附を活用させて頂き、累計1,755本の植樹が実現！進和学園メンバーにとって、生徒の皆さんと協力して、自らが育てた苗木を植える貴重な体験の場となりました。

（右：ﾀｳﾝﾆｭｰｽ平塚版－2014.11.6－）

・神奈川県立秦野曽屋高校

秦野曽屋高校は、「ボランティア・福祉教育」に注力されています。その一環として、校庭での植樹・育樹活動を中心とする同校生徒の皆さんと進和学園の交流は、5年目を迎えました。

2014年9月6日、今年も、文化祭「秋輝祭」にお招き頂きました。これまで、校庭に進和学園栽培の苗木を一緒に植樹して来ましたが、文化祭のイベントとして、育樹作業（除草・剪定・施肥・補植）を行いました。また、進和学園のクッキー等自主製品の模擬店では、生徒さん達と二三四（ﾌｼﾞ）明子先生（福祉ご担当）が、販売をサポートして下さいました。

およそ75人と教諭たちが参加。社会福祉法人進和学園などの協力でスダジイやタブ、カシ、シャリンバイなどの苗木を植え込み、地面に藁を敷き詰める作業を約1時間かけて行った。

苗木は、同学園でドングリなどの木の実から育られたもの。東日本大震災で被災した東北沿岸に森の防潮堤をつくる「いのちの森プロジェクト」の提唱者である宮脇昭横濱国立大学名誉教授の指導で、同学園のどんぐりグループが植樹用ポット苗を栽培している。今年3月に退任した鈴木豊前校長が同教授によるその土地本来の木による本物の森づくりの理念に共感し、植樹式が実現。今回は「苗木を一本ずつ植え、森を育てていくためには手間がかかることが分かった」と生徒会長の田村寿朗くん（3年）。野口校長は「自然に接する機会が少ないなか、森づくりは生徒たちにとって将来のよい経験と思いつた」と話した。



秦野曽屋高校での育樹作業

・神奈川県立茅ヶ崎西浜高校



2014年10月22日、茅ヶ崎西浜高校における植樹イベントは、同校生徒・先生方との貴重な交流会となりました。進和学園で種子から栽培した「イヌツゲ」の苗木60本を、同校バスケットボール部の男子生徒の皆さんと一緒に、校門を挟む生垣に植えることが出来ました。

霧雨模様の天候でしたが、流石にスポーツに励む皆さんは、明るく元気に爽やかにチームワークを発揮！率先して作業を行い、大変気持ちの良いミニ植樹祭でした。



茅ヶ崎西浜高校の皆さんと

・くくのちのモリプロジェクト／多摩美術大学

「くくのち」の皆様は、多摩美術大学芸術人類学研究所を拠点に、古来から日本各地に伝わる森の思想を汲みながら、今の時代に必要な「森づくり」に注力されています。

2014年10月18日、多摩美術大学（八王子）において、第6回植樹祭「点晴の植樹祭」を開催。晴れ渡る秋空の下、「森づくり」の交流の輪が広がりました。グラウンド斜面には、これまでに植樹した苗木が徐々に樹影を濃くしています。今回も、(株)サン・ライフ様（平塚市）のご支援により、350本の苗木を植えることが出来ました。



石花ちとく様の石積み作品&植樹した苗木と共に記念写真
多摩美術大学（2014.10.18）

ポット苗ご購入者様に感謝！

多くの皆様に進和学園の苗木をご利用頂いています！

2014 年度に 100 本以上のポット苗をご購入頂いた企業・団体・個人様は、次の通りです。
皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。（2014 年 4 月～2015 年 3 月末）



	ご購入者様（敬称略）	ご購入本数	
2,000 本以上	（公財）瓦礫を活かす森の長城プロジェクト	4,135	累計 7,245
1,000 本以上	エスベックミック（株）／上野洋一	1,271	合計 1,764 累計 17,273
	エスベックミック（株）／（株）トヤマ	493	
	進和職業センターを偲ぶ会（「はばたき進和」植樹祭）	1,000	
500 本以上	東京都豊島区・「グリーンとしま」再生プロジェクト	995	累計 3,527
	逗子市（ほととぎす隊）～逗子市立第一運動公園他～	805	累計 1,525
	三井住友海上火災保険（株）	450	合計 650 累計 1,050
	三井住友海上あいおい生命保険（株）	200	
	NPO 法人 GoodDay	574	累計 2,559
	（株）研進（「はばたき進和」植樹祭）	500	
300 本以上	NPO 法人 Return to Forest Life（ワタミ（株））	477	累計 5,323
	ワタミ手づくりマーチャンダイジング（株）		
	神奈川県平塚土木事務所	400	累計 1,200
	田旗造園設計（株）／NPO 法人時ノ寿の森クラブ	322	累計 6,494
200 本以上	朝日新聞社「地球教室」（1 年生苗）	262	累計 22,445
	（株）しまむら（しまむらストアー）	232	
100 本以上	共和地域振興会	100	
	NPO 法人 国際ふるさとの森づくり協会（Renafo）	100	

横浜ゴム（株）様との 連携による緑化活動

横浜ゴム（株）様は、「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトにて、社員の皆様が苗木づくりを行い、国内外事業所での植樹に加え地域への苗木提供活動を進めておられます。

同社保有の余剰苗を進和学園に無償提供頂き私達が栽培を引き継がせて頂く連携活動は 5 年目を迎えました。これまで、平塚製造所様に加え、茨城・新城・三島工場様並びに関連会社のヨコハマモールド（株）様からも苗木をご寄贈頂いています。譲渡頂いた苗木は、累計 35,230 本に及び、その内、既に植樹した苗木は、19,803 本（5/10 現在）となります。横浜ゴム様と進和学園との連携から、森づくりを通じた環境保全、並びに苗木の栽培に励む障害者の方々の方々の自立・就労支援に貢献できることは大変意義深いことと嬉しく思います。CSR（企業の社会的責任）の観点からも、価値ある取り組みであり、心より敬意を表すると共に感謝申し上げる次第です。



横浜ゴム（株）茨城工場様・ヨコハマモールド（株）様より苗木ご寄贈
（2014. 9. 26）

横浜ゴム（株）様からの苗木ご寄贈・植樹実績 （2010 年～2015 年 5 月 10 日現在）

ご寄贈実績：35,230 本

植樹本数：19,803 本（植樹事案 90 件）

* 同社茨城工場様よりご寄贈頂いた苗木は、北関東産として東北被災地の森林再生に適するため、東北復興の「いのちを守る森の防潮堤」プロジェクトに多数が活用されています。



朝日新聞社「地球教室」／苗木の里親&東北植樹リレー 小中学生へ幼苗プレゼント：累計22,445本

朝日新聞社の環境教育「地球教室」に応募した全国の小中学生への参加賞として、進和学園の苗木(1年生苗約10cm)がプレゼントされています。2010年度から5年連続で実施し、累計22,445本の幼苗が贈られました。

学校や家庭で苗木を育て、植える場所がない場合は、「苗木の里親制度」により進和学園へ送り返して植樹することが出来ます。更に、私達が育てている東北産の苗木にバトン・タッチし、東北の被災地復興に役立てる植樹リレーを実践しています。

朝日新聞環境教育プロジェクト

はじめるよ、未来へのアクション！
地球教室

30cm以上に育ったら
進和学園に送ってね！

苗木の里親制度 &
東北植樹リレーやっています



朝日新聞「地球教室」苗木の里親制度&東北植樹リレー (2015年3月末現在)

- ①進和学園へ里帰りした苗木：162本
- ②上記①の内、植樹を行った苗木：152本 (湘南国際村めぐりの森 他)
- ③上記②の内、東北産の苗木にバトン・リレーを行い、東北地方における植樹に繋がった苗木：149本(*)

小学5年生ごうにいただいたアカガシの苗木がこんなに大きくなりました。ぼくも、中学1年生になりました。無事に届くという気がします。

平成26年11月29日 徳永琢



徳永琢人(外) 君(愛媛県)が育てて進和学園に送り返して下さった立派なアカガシの苗木

* 2014年5月31日と9月3日、宮城県岩沼市・千年希望の丘植樹祭に、私達が東北産どんぐりから育てた苗木149本を「いのちの森づくり友の会」より寄贈し植樹しました。

(株) ラッシュジャパン様のご支援による植樹活動

英国の有名化粧品メーカーLUSH社の日本法人(株)ラッシュジャパン様には、私達の「いのちの森づくり」に多額の助成を賜ると共に、障害のある方々が手摘みしたブルーベリーをご発注に上、商品にご利用頂く等、障害者の自立支援に繋がるご支援を賜っています。

また、同社のボディークリーム「チャリティーポット」は、売上げを小さな草の根団体に寄付することをポリシーとして販売されていますが、その新製品のラインナップに、進和学園「いのちの森づくり友の会」を紹介するラベルを貼付頂き、2015年1月中旬から全国150店舗で約400個が販売されました。

福祉や環境分野において、企業の社会的責任(CSR)を積極的に全うされる同社に敬意を表すると共に、厚くお礼申し上げます。



ラッシュジャパン様に御礼訪問
(2014.7.24)

ラッシュジャパン様に助成頂いた植樹イベントから

- ①ブルーベリーガーデン旭(足柄上郡)植樹祭(2013.4.13)
- ②秦野市渋沢中学校・渋沢神社植樹祭(2013.10.4)
- ③どんぐりブラザーズと植樹大作戦／湘南国際村めぐりの森植樹祭(2014.11.23) ⇒ P.1&5、12 参照



チャリティーポットの新製品(ボディークリーム)に進和学園いのちの森づくり友の会バージョンが登場!



教育・研修・啓蒙活動



B & G財団 植樹リーダー研修会

公益財団法人 B&G（ブルー・アンド・グリーンランド）財団様主催「海を守る植樹教育事業・植樹リーダー研修会」が、2014年5月14～16日の3日間、進和学園（しんわろネッサンス）にて開催されました。本研修は、2012年度に始まり3回目ですが、豊かな海を守るために森の大切さを子供達に伝え、ドングリから苗を育て植樹する体験型の環境学習を推進して行く際に求められる知識やノウハウの修得を目的とし、全国から31名が参加されました。

初日の基調講演では、宮脇昭先生（横浜国大名誉教授）が登壇、「いのちを育むふるさとの森づくり」に係る情熱溢れるお話を、研修生に一般参加者も合わせ約140名が熱心に聴講しました。



B & G財団様 植樹リーダー研修会
宮脇 昭先生 基調講演
～しんわろネッサンス～（2014. 5. 14）

青年塾 実習会

志ネットワーク青年塾（主宰：上甲晃様）の皆様は、「志の高い日本」の実現を目指す活動の一環として、東北の被災地での「いのちを守る森の防潮堤」プロジェクトにボランティア参加されています。

2014年6月28日、同塾17名の皆様が、進和学園に来訪され、苗木栽培に関する実習会を開催。

進和学園を会場に選定頂くのは3回目です。東北産のドングリを播種した育苗キットを各自持ち寄り、生長の具合を見比べつつ、幼苗をポットに移し替える作業も行いました。



環境イベント・講座

私達は、「いのちの森づくり」講座の開催や、様々な環境イベントに参加して、価値観を共有する皆様と連携した啓蒙活動にも取り組んでいます。「森づくり」を通じた「人づくり」の大きな可能性を感じています。



③ 丸の内朝大学～進和学園どんぐりハウス～



① 出雲大社
相模分祠
草山清和様



② 三菱重工・横浜製作所様「金沢の森」



④ 秦野曽屋高校・総合的な学習の時間



⑤ 東京の森を考える円卓会議（エコメッセ様）

- ① 人と森のえんむすび講座（スマート・ウィメンズ・コミュニティ様との共催セミナー）
～出雲大社相模の分祀長 草山様の講話と鎮守の森見学～（2014. 8. 10）
- ② 三菱重工・横浜製作所様「森づくりと緑の役割」講座（2014. 10. 24）
- ③ 丸の内朝大学・ウェルフェアプロデューサークラス
～ポット苗づくり体験実習～（2014. 10. 26）
- ④ 神奈川県立秦野曽屋高校・総合的な学習の時間（2014. 5. 15）
- ⑤ 東京の森を考える円卓会議～環境まちづくり NPO エコメッセ様～（2015. 2. 11）

テレビ神奈川（TVK）様との連携

テレビ神奈川様との共催イベント「どんぐりブラザーズと植樹大作戦・あすの地球と子どもたち」（2014. 11. 23／P. 1、5 参照）の様子が、下記番組において放映されました。



■「ありがとッ」

- ・日時：2014年11月25日（火）
12:00～14:00の中で放映
- ・内容：進和学園はじめ県内の連携福祉施設「どんぐりブラザーズ」を主役に、一般参加者を含め、約250人が集い宮脇昭先生（横浜国大名誉教授）のご指導の下、その土地本来の樹種1,000本の苗木を植樹。参加者の笑顔と感想等をインタビューを通じて報じました。



テレビ神奈川の皆様と植樹祭の事前準備

■特別番組「あすの地球と子どもたち～ Live Together ～」第3夜 地球環境の未来

- ・日時：2015年3月28日（土） 20:00～21:50の中で放映
- ・内容：環境問題の本質、地域社会の在り方やライフスタイルなどをテーマに、豊かな社会を創るための動きを紹介。横浜ゴム様の森林再生取り組みと合わせ、「どんぐりブラザーズ植樹大作戦」の様相も放映されました。

***** 2014 TVK秋じゃないけど収穫祭

2014年6月1日（日）、テレビ神奈川主催「2014 秋じゃないけど収穫祭」に、私達もTVK様のご厚意により参加させて頂きました。横浜の日本大通りに続く象の鼻パークにて、TVK開局40周年記念事業「どんぐりドリーム大作戦」の一環として、どんぐりの幼苗を育てる「ポット苗づくり」体験コーナーが設営され、そのお手伝いをさせて頂きました。本イベントにおけるTVK様とのコラボレーションも4年目を迎えています。



2014 秋じゃないけど収穫祭・ポット苗づくり体験コーナー
テレビ神奈川社長の中村行宏様（後列右から2人目）はじめ社員の皆様とご一緒に！
（2014. 6. 1 横浜・象の鼻パーク）



F Mヨコハマ（84.7Mhz）「E-ne！～good for you～」に出演！

- ・日時：2015年3月26日 & 4月2日 15:35～15:40
- ・内容：海に山に緑にあふれる神奈川の魅力を伝えていく「KANAGAWA HEART CRUISING」！その第13回と第14回放送に、湘南国際村めぐりの森での植樹活動を中心に紹介！環境保全や防災にも資する森林再生の意義を解説しました。
- ・出演：川下都志子（株式会社 研 進／
湘南国際村めぐりの森植樹実行委員長）



エフエムサウンズのディレクター 12
前田牧絵様（右）と川下さん



「いのちの森づくり」の輪・和・ワッ！

手話であいさつ！ 平塚ろう学校植樹報告

久和 誠一郎（神奈川県立平塚ろう学校 小学部 主事 教諭）

2015年3月24日、平塚ろう学校小学部で植樹が行われました。
子どもたちの感想文を紹介します。

- ・私は、花を植えたことはあったけど、木を植えるのは初めてでした。楽しかったです。
- ・実際に植えてみると大変でした。ワラが飛ばないように「なわ」で固定するのが一番大変でした。手にキズができました。
- ・進和学園の先生が「木の苗もそれぞれ個性がある。違うものと違うものを植えて、木もみんなで協力して育つ」と教えてくれました。とても勉強になりました。
- ・将来、木がどうなっているか楽しみです。私たちが心をこめて植えた木と一緒に成長して行きたいと思いました。
- ・進和学園の先生方、いろいろ教えてくれてありがとうございました。



平塚ろう学校の2年生から5年生の皆さんと進和学園メンバーが力を合わせて苗木89本を植樹！
手話も教えて頂きました！（2015.3.24）

ご縁というものは・・・！

杉山 明久実（レインボータウンFM「ラジオ de ハピネス」パーソナリティ）

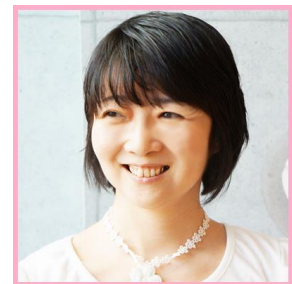
ご縁というものは、本当に不思議なものだと思います。

そもそも、私がラジオ番組を持って、パーソナリティをしているということ自体、人のご縁がなければあり得なかったこと。そして、そのラジオ番組がなければ、研進さん、進和学園さんとのご縁も今のように深くなることはなかったでしょう。

元々、森づくりに参加することは私の夢でした。でも、具体的に何からどんな風に関われば、望む形に向かうのか？見当さえつかず困っていたのです。ところが、研進の川下さんとの出会いで、私の悩みは一気に解決し、応援する方向が見えてきました。そう、私の得意分野は「伝える」こと。

本物の森づくりのプロである宮脇先生のご指導の下、苗木の栽培を担当下さっている進和学園さんの活躍をお伝えし、賛同者やご寄附を募って行くこと。これであれば、私にとって、ずっと続けることが可能です。

出来ることを続け、共に目標に近付いて行きたいと心から願っております。



南相馬市鎮魂復興市民植樹祭に参加して！

西田 恭子（NPO法人エコメッセ・世田谷目黒運営委員会）

震災の津波で大きな被害を受けた南相馬市原町区萱浜の沿岸で、市民や全国から集まったボランティアなど約3000人が犠牲者の鎮魂と復興への願いを込めて、南相馬市で2回目の植樹祭（2015年3月29日）が開催されました。

NPO法人エコメッセからは世田谷・目黒のメンバーを中心に3名が植樹ボランティアとして参加しました。植樹される苗木の中に、エコメッセが社会福祉法人進和学園「いのちの森づくり」に寄附して育てていただいた苗木444本があります。

お天気にも恵まれ、大勢の参加者とともに宮脇方式で、タブノキやシロダモ、モチノキなど16種類の苗木2万本を植えました。すくすくと大きく育って地域を守る防災林となってくれることを願っています。



福島県南相馬市での植樹祭に参加されたNPO法人エコメッセの西田恭子様（中）と西尾光子様（右）、重田益美様（左）（2015.3.29）
エコメッセの皆様には、「いのちの森づくり」を親身にご支援頂いています！

「いのちの森づくり」に想うこと ～ 福祉と環境のコラボレーション ～

川下 都志子（株式会社 研進／湘南国際村めぐりの森植樹実行委員長）

* 本稿は、NPO 法人市民シンクタンクひと・まち社の機関誌「ひと・まち」NO. 49（2015 年 3 月 5 日発行）に掲載された随想記事を、一部編集して収録したものです。



■ 共に過ごすことによる「気付き」

私は、東日本大震災の直後、2011 年 3 月 22 日に（株）研進（社会福祉法人進和学園の営業窓口会社）に入社しました。当時、施設内は震災の影響を如実に受け、利用者（施設を利用される障害のある方々）は奇声をあげる人、うろうろと落ち着かず徘徊する人など、東北の方々の苦難を共に感じて苦しんでいる様に思えました。その後、「福祉的就労」について勉強するため、紅茶の封入梱包作業などを行い、利用者の方と共に過ごしました。2 ヶ月目には、東北への多額の義援金を東ティモールが提供したことを耳にし、東ティモール産のコーヒーの流通の促進（フェアトレード）と福祉施設メンバーの工賃を得ること、売上げの一部を東北沿岸の防潮林のための苗木に充当する寄附金機能を付けるなど、東北（被災地）／東ティモール（開発途上国）／福祉（障害者）の三方に喜んでもらえるコーヒー商品「カフェ・ブーケ」を企画しました。「カフェ・ブーケ」が具現化に向け動き出した時には、「いいじゃないですか」「凄いですね」と、一番温かく応援してくれたのは利用者の皆さんでした。そして、新企画の準備に慌ただしくなる私を気遣ってくれたのも利用者の方々でした。皆さんから、私の好きな景色を撮影した写真のサプライズ・プレゼントがあり、その心遣いに感動し言葉を一瞬失いました。時間もお金もかかり、負担をかけてしまったことに「ごめんね。ありがとう」と言うと、「私だって何かしたいんですよ。東北には行けないけど、支援したいんです」との言葉に、いつの間にか自分がハンデを持つ方から支援を受ける

とは夢にも思わず、本心では一人の人として対等に捉えていなかった心の奥底の歪みに気付かされ、自らを恥じ入りました。

利用者の方々は、素直に仕事ができることを喜び、社会の役に立っていることに生き甲斐、遣り甲斐を見出し、日々の支えとされています。障害者だろうと健常者だろうと仕事をする、社会の役に立つことがとても重要であり、大きな意味を有することを勉強させて頂きました。



森づくり寄附金付
カフェ・ブーケ

■ 「福祉的就労」と進和学園の取り組み

（株）研進の事務所がある施設は、社会福祉法人進和学園の就労系事業の拠点で「しんわルネッサンス」といいます。主に知的障害のある方を中心に、A 型（雇用型）20 名、B 型（非雇用型）80 名、就労移行支援 20 名の合計 120 名の方が、毎日通い仕事に従事しています。

支援員である職員の方々は、利用者の健康管理から、家庭との連絡や通所時の安全確保、仕事上の段取りなど、広範囲のサポートを要求され、その仕事量や勤務時間は大変厳しいものがあります。それでも 10 年 20 年と長期の勤続者が多く、身びいきを抜きにしても奉仕の精神と忍耐力を兼ね備えた方々が、開設 57 年の進和学園の礎となられているのではと思います。



ホンダ元副社長の西田通弘様（左から 3 人目）
をお迎えして / 右端が川下さん
～2012 年 12 月 24 日クリスマス会
「しんわルネッサンス」にて～

「しんわルネッサンス」は、1970 年代から本田技研工業（株）様より、自動車部品の組立を受注しており、通所される約 120 名の内、実に 75 名の方がホンダさんの仕事に従事しています。その質の高さが評価され、ISO 9001 認証を、知的障害部門の福祉工場では全国で初めて取得した非常に優秀な施設です。福祉施設における全国の平均月額工賃は、約 14,000 円と低水準です。一方、進和学園は、ホンダ車部品組立の受注により、A 型：月平均約 148,000 円、B 型：月平均約 45,000 円と高い工賃レベルを保つことが出来ています。加えて、「いのちの森づくり」プロジェクトのみで計算しても 3～4 万円の月額工賃をキープしており、福祉施設の在り方を導くリーダー的役割を担っていました。

しかしながら、進和学園の工賃水準を以てしても健常者との溝は大きく、加えて、2008 年のリーマンショックや 2011 年の東日本大震災、タイ大洪水と自動車業界にも苦難が連続し、現地生産にシフトされたこともあり、自動車部品の組立の発注は、全盛期の三分の 1 と落ち込みました。必然的に、工賃の安定化のため、事業の多角化を余儀なくされます。

■ 福祉と環境活動の交流・連携

2006年10月に発足した「いのちの森づくり」プロジェクトも、事業の多角化の一環と位置付けられました。この取り組みは、横浜国大名誉教授 宮脇昭先生の提唱する森林再生の理念が進和学園の理念と酷似することから、2006年春に新設した「しんわルネッサンス」の植栽を宮脇先生にご指導頂いたことが契機となっています。「仲の良い者だけを集めず、お互いに少し我慢し合うことで成長する」という「森づくり」を通じたメッセージが、障害者が社会参加する際の姿と重なり、人間社会も同じではないかと理事長がいたく感動したのです。

現在、このプロジェクトにより、福祉施設連携で栽培する苗木の総数は約10万本、樹種は約80種類となり、出荷本数は累計16万本を超えました。出荷先は、東北から南は関西まで広域に亘り、今（2015年3月）も福島県南相馬市植樹祭のための出荷準備をしています。

私は、「いのちの森づくり」の担当となり、森づくりを通じた社会との交流が、相互にメンタルケア、教育、自然環境の学習へと繋がる場として、素晴らしく価値が高いことに気付きました。その機会は、森づくりのプロセスの中に多くあり、①どんぐり拾い ②どんぐりから発芽した苗をポットへ移すポット苗づくり ③2～3年生の苗木を植える植樹 ④植樹後に森を育む育樹（主に除草作業） ⑤森の講座（自然環境学習・体験実習）などです。特に、植樹祭や育樹作業では、障害者も健常者も老若男女が混ざって、最高の交流の場となります。嬉しい思い出は記憶となり企業からも市民団体からも又機会を持ちたいとお声がかかります。自分の中でも、もしかすると「森づくり」が福祉的就労環境を改善する起爆剤になるかもしれないと可能性を確信しました。

進和学園のみならず、福祉施設同志の横の交流を深め、育苗・植樹・育樹と植樹地に近い施設からの協力を仰ぐことで自然に連携の輪が広がりました。現在、神奈川県で6施設、県外を合わせると10施設以上がこの取り組みに参加しています。こうした福祉施設間連携による森づくりチームを「どんぐりブラザーズ」と命名しました。昨年（2014年）11月23日には、テレビ神奈川様との共催で「どんぐりブラザーズと植樹大作戦～あすの地球と子どもたち～」1000本植樹祭（湘南国際村）を開催し、福祉施設が推進する森づくり事業を紹介するため、チームの皆さんにステージに上がってもらいました。当日は、100名の募集のつもりが250名の方にご来場頂き、企業・NPO・行政・学校と多方面から高くご評価頂き、絶好の交流の場となりました。

■ 森づくりは人づくり

公共の場に森づくりをしたくても予算がないという場合も、「進和学園いのちの森づくり友の会」の会員からの善意の寄附金を活用し、植樹祭が開催出来るようにサポートも可能となっています。お陰様で、学校や国道沿い・公園などの公共スペースの植樹を教育機関・行政・市民団体からお申し出頂き、自然環境保全・改善活動と同時に福祉施設利用者への工賃還元にも役立っています。こうして、外部のご評価も得つつ「森づくり」が地域・社会・教育・福祉・環境・労働と広がってきたのも「自分さえ良ければいい」という排他的な考え方ではなく、関わる方、皆さんに喜んで頂きたいと施設側もスタッフも心を砕いてきた結果だと思えます。

更に、私達は、森の恩恵により呼吸し、自然の浄化作用により安全な水を手に入れ、森が創った土で耕した食料を頂く、日本の昔からの教えである「身土不二」を、土に触れる日々の中で学べます。今、日本が元気を失い、社会が病んでいると感じるのも、人が自然の一部でありながら不自然なことを強いられ、不自然な環境に身を置き、土から離れてしまった現状への警告のような気がします。自然の大切さ、自然と共に生きることを知り毎日に感謝することが、福祉や一般社会をも包含して、照葉樹林文化に象徴される日本の再生の鍵になる気がしてならないのです。そして、「森づくり」は、健常者・障害者の垣根を越えた「人づくり」の場であることを実感しています。地域の中で環境活動や福祉活動が共に連携して、豊かに育まれることを期待したいと思えます。



植樹後9年を経た「しんわルネッサンス」の森
自然の森は色々な種類が混ざり合う！（2015.4.21）



横浜国立大学「どんぐりからの苗木づくり」
授業 ～1年生によるポット苗づくり体験実習～
(2014.12.11)



大きな成果を挙げた「どんぐりブラザーズと植樹大作戦」
(2014.11.23 湘南国際村めぐりの森)

「いのちの森づくり友の会」による基金



本会がスタートして6年目、2014年度は、個人会員120名様、団体会員57団体様にご加入頂き、寄附金、助成金及び前年度繰越金と合わせて約1,490万円の基金となりました。皆様から頂いた会費、寄附金及び助成金・協賛金は、「いのちの森づくり」のための基金として、植樹活動を通じた環境保全への貢献並びに進和学園はじめ「どんぐりブラザーズ」として福祉施設で働くメンバーの工賃に還元される等、有効に活用させて頂いています。

(株) サン・ライフ様

冠婚葬祭・福祉・文化事業を展開される(株)サン・ライフ様(平塚市)には、5年連続 累計800万円のご寄附を賜っています。これまでに、ご寄附を活用して下記の公共スペース13ヶ所18,000本以上の植樹が実現しています。

(株) サン・ライフ様ご寄附による植樹実績 (2015年5月10日現在)

- | | |
|------------------------|----------|
| ① 湘南国際村めぐりの森(横須賀市) | : 9,460本 |
| ② 国立神奈川病院(秦野市) | : 2,090本 |
| ③ 平塚市立太洋中学校 | : 1,755本 |
| ④ 多摩美術大学八王子キャンパス(八王子市) | : 1,600本 |
| ⑤ 開成町「かいせい平成の杜」(開成町) | : 700本 |
| ⑥ 国道134号線千石河岸側道(平塚市) | : 500本 |
| ⑦ 社会福祉法人進和学園(平塚市) | : 485本 |
| ⑧ 神奈川県立秦野曽屋高校(秦野市) | : 450本 |
| ⑨ 尾尻八幡神社(秦野市) | : 370本 |
| ⑩ 湘南ひらつかパークゴルフ場(平塚市) | : 278本 |
| ⑪ 神奈川県立平塚ろう学校 | : 222本 |
| ⑫ 国道134号線袖ヶ浜沿岸防砂林(平塚市) | : 200本 |
| ⑬ しぜんの国保育園(東京都町田市) | : 200本 |

植樹合計
18,310本



進和学園の苗木を植樹される(株)サン・ライフ会長の竹内恵司様と相談役の竹内伸枝様と共に
～サン・ライフの杜(小田原市)にて～(2014.11.20)



(株)サン・ライフ社長の比企 武様
進和学園をご慰問! (2014.4.25)

本田技研工業(株)様

ホンダ車部品の組立は、進和学園の仕事の中核を占め41年目を迎えています。

ホンダ様のご厚意により、「いのちの森づくり基金」に5年連続、累計500万円のご寄附を賜り、プロジェクト全般をご支援頂いています。

ホンダ様へ御礼訪問/青山本社ウェルカム・プラザ
(2015.5.11)

レッツゴー
Honda!



進和学園・いのちの森づくり基金の活用実績 (2015年3月末日現在)

年 度	事 案 数	苗木提供本数	活用基金(苗木代金・労賃・経費等)
2009	3	2,704本	1,204,800円
2010	17	3,675本	2,467,410円
2011	30	3,534本	3,836,919円
2012	40	14,476本	8,991,417円
2013	40	17,594本	9,266,423円
2014	39	10,967本	13,331,659円
合 計	169	52,950本	39,098,628円

(注) 基金は、公共植樹地の ①苗木代金 ②育樹(除草)作業の労賃に主に活用されています。苗木代金の一部(学園標準価格と販売価格との差額)に同基金を充当するケースも含まれています。2014年度の詳細は、P.18、19を参照下さい。

2014年度の活用基金には、日本郵便様「年賀寄附金」助成金200万円を含みます。



いのちの森づくり基金 ～ 2014 年度「友の会」会費・ご寄附・助成金・協賛金 ～

ご寄附・助成ご芳名 (5 万円以上)	金額 () 内累計	ご寄附・助成ご芳名 (5 万円以上)	金額 () 内累計
日本郵便 様「年賀寄附金」助成金	200 万円	滝谷 満 様	10 万円
(株) ラッシュジャパン 様 助成金	130 万円 (260 万円)	(株) トヤマ 様	10 万円 (20 万円)
(株) サン・ライフ 様	100 万円 (800 万円)	日本生命労働組合平塚支部 様	10 万円
本田技研工業 (株) 様	100 万円 (500 万円)	平野勝己様	10 万円
高橋正敏 様	100 万円	(株) ホンダプリモ神奈川南様	10 万円 (27 万円)
リトルツリー (研進) 様	94 万円 (107 万円)	三菱重工業 (株) 横浜製作所 様	10 万円 (150,900 円)
横浜銀行 様 協賛金	50 万円	山根信成 様	10 万円
出縄貴史 様	25 万円	「掛川銘茶」募金	93,100 円
出縄文子 様	25 万円	出縄 茂 様	8 万円
土方富美子 様	25 万円	出縄弘貴様	7 万円
(株) 研進 様	20 万円 (314 万円)	ライフエイド様	68,500 円
須藤 亮 様	18 万円	石井申二 様	77,700 円
進和職業センターを偲ぶ会 様	15 万円 (22 万円)	ゆいまーる 様	55,194 円
木村俊介 様	15 万円	磯部久美子 様	5 万円
「果てなき闘い」募金	104,000 円	(株) 栄林堂印刷所 様	5 万円 (18 万円)
(有) 石田電設 様	10 万円 (20 万円)	小澤和代 様	5 万円
出縄晴生 様	10 万円	木村由美子 様	5 万円
出縄雅之 様	10 万円	高橋叶実 様	5 万円
今村美子 様	10 万円	高橋公子 様	5 万円
岩下亮太 様	10 万円	林田雅之 様	5 万円
SMBC 日興証券 (株) 藤沢支店 様	10 万円 (20 万円)	松浦弘樹 様	5 万円
MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ 様	10 万円 (20 万円)	松尾光隆 様	5 万円
(三井住友海上グループ様)		ミドリ安全株式会社 様	5 万円 (30 万円)
湘南福祉アクティビティ 様	10 万円 (60 万円)	宮入宏彦 様	5 万円
親切会 (日立グループ) 様	10 万円	モク&ルーシー様	5 万円 (10 万円)
ご寄附ご芳名 (3 万円以上 : 金額・五十音順)			
出縄智子様、出縄典子様、出縄守英様、出縄理沙様、エスベックミック (株) 様、川下都志子様、慶応大学オリジナルワト様、さかえ egao プロジェクト様、佐藤 学様、社会福祉法人こうよう会様、太陽根っ子の会様、野村證券 (株) 平塚支店様、NPO 法人フレッシュ ベルカンパニー様、ませ動物病院様、松尾麻里様、宮入美保様、ラムの会様			
ご寄附ご芳名 (1 万円以上 : 金額・五十音順)			
個人 : 綾部武雄様、出縄友輝生様、岩下直子様、上原八千子様、上野洋一様、近江英彦様、串山義勝様、久保寺一男様、熊坂助三様、河野順子様、合田育生様、小清水勝敏様、坂井千晶様、櫻井泰広様、須藤映子様、鈴木 勲様、関橋知己様、妹尾祐子様、高橋艶子様、露木 潔様、富田龍男様、新川順子様、二瓶智枝子様、根本敏子様、古野貞昭様、前原勝信様、松浦明美様、望月敦子様、山田和弘様、山田雅穂様			
団体 : ラッシュチャリティーバンク様、社会福祉法人湘南の風様、あらかわモデル創造プロジェクト様、湘南 88 友の会様、出雲大社相模分祀「人と森のえんむすび講座」様、(株) エイチアールインスティテュート様、(株) 大川印刷様、菊友クラブ様、NPO 法人市民シンクタンクひと・まち社様、天富良かんの様、東海自動車 (株) 様、戸山高校写真班 0B 有志様、日本ハム東販売 (株) 様、富士愛育園ふじの会様、(有) KEN 様、(株) 昭和保険事務所様、(株) プレステ様、(有) 八廣コンサルタンツ様、「夢 80 の言葉」募金、しんわルネッサンス & リトルツリー (研進)・募金箱			

「いのちの森づくり基金」によって植えられた苗木は各所ですくすくと生長しています！



国道 134 号線沿道
高浜台 (平塚市)

17



湘南国際村めぐりの森



逗子市立逗子小学校

「いのちの森づくり基金」の活用実績



会員の皆様から頂いた会費や寄附金・助成金・協賛金は、以下の事案における苗木代金及び作業費用等に充当の上、進和学園及び連携施設で働くメンバーの工賃に還元させて頂きました。(収支報告：P. 20 をご参照下さい)

No	日 程	植樹・育樹・社会参加活動内容	金額（円）／相対団体（敬称略）
1	4月 4日	横浜市立汲沢中学校 苗木提供 場所：横浜市立汲沢中学校・校庭／作業：補植／樹種・本数：高中低木 200 本	90,000円 横浜市立汲沢中学校
2	4月19日	ふるさと生命の森づくり植樹祭 苗木提供 場所：鍛冶神社（兵庫県小野市）／樹種・本数：高中低木 1,550 本／備考：(1) シルキー生命の森づくり実行委員会主催 (2) 地元の保育園：来住保育所に寄贈し園児達を中心に植樹	697,500円 来住保育所
3	5月 6日	第9回湘南国際村めぐりの森植樹祭 苗木提供 場所：湘南国際村めぐりの森（横須賀市）／作業：①植樹祭参加・展示ブース設営 ②育樹（除草）／樹種・本数：高中低木 1,313 本	864,285円 湘南国際村めぐりの森づくり部会
4	5月29日 ～31日 (3日)	岩沼植樹祭（東北復興支援） 場所：宮城県岩沼市・千年希望の丘／樹種・高木2種類 合計110本／作業：①苗木運送②準備（苗木仕訳・地盤造成等）③植樹祭参加／備考：(1) 主催：岩沼市、共催：瓦礫を活かす森の長城P、「いのちを守る森の防潮堤」推進東北協議会 (2) 苗木110本は、本基金を活用して、「いのちを守る森の防潮堤」推進東北協議会を通じて寄贈。ご購入頂いた苗木1,500本の運賃、参加者4名の作業労賃・交通費等を、本基金より充当させて頂きました。	359,482円 公益財団法人 瓦礫を活かす森の長城プロジェクト
5	6月 1日	T V K秋じゃないけど収穫祭参加 場所：横浜日本大通り・象の鼻パーク／作業：「ポット苗づくり」体験コーナー運営・展示販売／参加者：進和学園3名、研進4名、合計7名／備考：T V K（テレビ神奈川）「どんぐりドリーム大作戦」の一環として、T V K様と連携して実施。	72,758円 (株) テレビ神奈川
6	6/3、17、24 (3日)	平塚市内5ヶ所植樹地 育樹・補植 場所：北豊田防災備蓄基地、国道134号線沿道4ヶ所（高浜台南・千石河岸・袖ヶ浜・高浜台北）／作業：育樹（除草・剪定）、清掃、補植300本（国道134号線高浜台北）／備考：神奈川県平塚土木事務所と連携して実施。社会福祉法人小田原支援センターと協働作業。	327,428円 神奈川県平塚土木事務所
7	6月12日	「はばたき進和」植樹祭 場所：社会福祉法人進和学園・はばたき進和（平塚市）／作業：植樹（準備作業を含む）／樹種・本数：中低木100本／備考：苗木100本は、日本生命労働組合平塚支部様からのご寄附を活用させて頂きました。	45,000円 社会福祉法人進和学園
8	6月12日	掛川地区 育樹 場所：静岡県掛川市／作業：育樹（除草）・清掃／備考：NPO法人時ノ寿の森クラブ、社会福祉法人掛川芙蓉会（工房つづじ、あいあい学園）と連携して実施。	32,463円 静岡県掛川市 NPO法人時ノ寿の森クラブ
9	6月23日	開成町「かいせい平成の杜」 育樹・補植 場所：開成南小学校／同校隣接公園（神奈川県足柄上郡開成町）／作業：育樹（除草）、補植150本／備考：NPO法人パソボラサークルと連携して実施。	99,391円 神奈川県足柄上郡開成町
10	4/25、5/4、9、23、 6/13、20、26、27、 7/11、18、25、8/1、 9/19、26 (14日)	湘南国際村めぐりの森 育樹・補植 場所：湘南国際村めぐりの森（横須賀市）／作業：育樹（除草）、5/4は苗木納品作業を含む。5/23は苗木105本補植作業を含む。9/19、26は苗木各100本、合計200本の補植作業を含む。／備考：社会福祉法人湘南の風と連携して実施。	302,114円 湘南国際村めぐりの森づくり部会
11	8月10日	「人と森のえんむすび講座」（出雲大社相模分祀） 場所：出雲大社相模分祀（神奈川県秦野市）／内容：出雲大社相模分祀 分祀長 草山清和様ご講話／「千年の杜」（境内の森づくり）見学他／備考：(1) 主催：進和学園いのちの森づくりプロジェクト (2) 共催：スマート・ウィメンズ・コミュニティ	82,364円 出雲大社相模分祀 スマート・ウィメンズ・コミュニティ 社会福祉法人進和学園
12	7月17日 8月21日	「サン・ライフの杜」 育樹 場所：「サン・ライフの杜」（神奈川県小田原市久野）／作業：育樹（除草）・清掃／備考：(1) 「かながわ森林再生50年構想」に基づく活動 (2) 7/17は研進・進和学園、8/21は社会福祉法人足柄緑の会（コスモス学園）と連携	15,020円 (株) サン・ライフ
13	8月23日	どんぐりブラザーズ夏祭り 場所：NPO法人パソボラサークル農業ステーション（神奈川県小田原市）／作業：ポット苗づくり／備考：どんぐりブラザーズ（連携福祉施設）及びご支援者の親睦・交流会実施。	37,720円 どんぐりブラザーズ
14	2013年度植樹案件 助成金支給に伴う 基金の取崩・精算	小田原荻窪森林再生プロジェクト植樹祭 日程：植樹祭・・2013年11/23／補植・・2014年3/7／場所：神奈川県小田原市荻窪／作業：①地盤耕起 ②植樹 ③補植／備考：①国土緑化推進機構様からの助成金受領（2014年6月末）に伴い、必要経費の不足額（右欄仕債額）を本基金より取崩し精算。②「かながわ森林再生50年構想」に基づく活動。	298,870円 辻村農園・辻村山林
15	9/3、10/11、16 (3日)	岩沼＆南相馬 補植（東北復興支援） 場所：①宮城県岩沼市・千年希望の丘 ②福島県南相馬市／樹種・本数：7種類 合計895本／作業：苗木配送／備考：(1) 公益財団法人 瓦礫を活かす森の長城プロジェクトへ納品。(2) 販売価格と学園標準価格との差額を本基金より充当させて頂きました。	344,982円 公益財団法人 瓦礫を活かす森の長城プロジェクト
16	7月 4日 9月 6日	秦野曽屋高校 育樹 場所：神奈川県立秦野曽屋高校（秦野市）／作業：育樹（除草・剪定・施肥）、補植各10本、合計20本／備考：9/6は、同校文化祭・秋輝祭にて展示・販売ブースを設営。	44,078円 神奈川県立秦野曽屋高校
17	9月 6日	ふるさと生命の森（シルキー生命の森） 補植用苗木提供 場所：鍛冶神社（兵庫県小野市下町）／樹種・本数：ホルトノキ180本、イチイガシ120本、合計300本／備考：地元の保育園・来住保育所に寄贈し園児達を中心に植樹。	153,468円 来住保育所
18	9/9、12、16、17、19、 23、29、30、10/1、 7、8、9、16、17、28、	掛川地区 育樹 場所：静岡県掛川市（中東遠総合医療センター、国安防災林、シートピア海岸防災林）／作業：育樹（除草）・清掃／備考：NPO法人時ノ寿の森クラブ／草苗だいとう作業所、エ	806,499円 静岡県掛川市 NPO法人時ノ寿の森

	29、30、11/4、6、12、13、20 (22日)	房つつじ、あいあい学園と連携して実施。	
19	9月11日	開成町「かいせい平成の杜」 育樹・補植 場所：開成南小学校／同校隣接公園（神奈川県足柄上郡開成町）／作業：育樹（除草）、補植 200 本／備考：NPO 法人パソポラサークルと連携して実施。	141,608円 神奈川県足柄上郡開成町
20	10/3、8、10、17、24、31、11/9、12/12、19、26、1/16、23、3/17、25 (14日)	湘南国際村めぐりの森 育樹・補植 場所：湘南国際村めぐりの森（横須賀市）／作業：育樹（除草）、10/3、8、10、17、12/26 は、苗木各 100 本、12/19 は 56 本／合計 556 本を補植。／備考：（1）社会福祉法人湘南の凧と連携して実施。（2）11/9 は、「育樹イベント」として実施。	489,429円 湘南国際村めぐりの森づくり部会
21	10月8日 10月9日	横浜市立深谷台小学校 里山の森事業 苗木提供 場所：横浜市立深谷台小学校（横浜市）／樹種・本数：高中低木 74 本／作業：①地盤造成、植樹準備 ②植樹と森の勉強（小学校 4 年生）	62,152円 横浜市立深谷台小学校
22	10月9日	逗子市蘆花記念公園・久木小学校 苗木提供 場所：神奈川県逗子市蘆花記念公園（旧脇村邸）& 逗子市立久木小学校／樹種・本数：高中低木 170 本／備考：「ほととぎす隊自然部会」を通じて寄贈。	76,500円 神奈川県逗子市
23	10月10日	B&G 葉山海洋クラブ「豊かな海を育む森づくり」 苗木提供 場所：湘南国際村めぐりの森（森と畑の学校／横須賀市）／樹種・本数：高中低木 282 本	126,900円 B&G 葉山海洋クラブ
24	10月18日	第 6 回くくのちのモリプロジェクト植樹祭 苗木提供 場所：多摩美術大学八王子キャンパス／作業：植樹祭参加／樹種・本数：高中低木 350 本	244,719円 多摩美術大学・くくのちのモリプロジェクト
25	10/15、20、22 (3日)	茅ヶ崎西浜高校 生垣植樹 苗木提供 場所：神奈川県茅ヶ崎西浜高校（茅ヶ崎市）／作業：①地盤耕起 ②植樹イベント参加／樹種・本数：イヌツゲ 60 本	75,893円 神奈川県茅ヶ崎西浜高校
26	10月26日 11月29日	市民協働による災害に強い「いのちの森づくり」植樹祭 苗木提供 場所：大東総合グラウンド（静岡県掛川市）／樹種・本数：中低木 268 本	120,600円 静岡県掛川市 NPO 法人時ノ寿の森
27	10/27、28、29 (3日)	太洋中学校第 2 回のちを守る森づくり植樹式 苗木提供 場所：平塚市立太洋中学校／作業：①地盤造成、植樹式準備 ②植樹式準備&参加／樹種・本数：高中低木 1,255 本	1,126,287円 平塚市立太洋中学校
28	11/5、6、21、28、12/5 (5日)	小田原荻窪森林再生プロジェクト 育樹 場所：神奈川県小田原市荻窪／作業：育樹（除草）・清掃／備考：社会福祉法人小田原支援センターと連携して実施。	71,638円 辻村農園・辻村山林
29	11/6、14、20 (3日)	サン・ライフの杜 育樹&地盤耕起 場所：神奈川県小田原市久野／作業：①育樹（除草）・清掃 ②植樹予定地の地盤耕起作業 ③植樹指導・仕上げ作業／備考：（1）「神奈川県森林再生 50 年構想」に基づく活動（2）11/6 は、社会福祉法人足柄緑の会（コスモス学園）と、11/14 は、社会福祉法人小田原支援センターと連携して実施。	42,698円 (株) サン・ライフ
30	11/7、21、28 (3日)	国立神奈川病院 育樹 場所：国立神奈川病院周辺植樹地（秦野市）／作業：育樹（除草）・清掃／備考：出雲大社相模分祀と連携して実施。	158,122円 国立神奈川病院
31	11月中旬～ 11月23日	「どんぐりブラザーズと植樹大作戦 あすの地球と子どもたち」 植樹イベント開催 場所：湘南国際村めぐりの森（横須賀市）／作業：①地盤造成・植樹祭準備 ②育樹（除草）& 植樹祭参加・展示販売／樹種・本数：高中低木 370 本（協賛分を含めて 900 本）／備考：ご寄附を頂いた企業及びご協賛を頂いた企業・団体様 ⇒P. 5 参照。	2,825,948円 湘南国際村めぐりの森づくり部会
32	11/18、19、20、27 (4日)	平塚盲学校 苗木提供 場所：神奈川県立平塚盲学校（平塚市）／作業：①地盤耕起、植樹準備 ②植樹イベント参加／樹種・本数：低木中心に 240 本	288,195円 神奈川県立平塚盲学校
33	11月28日 11月29日	国道 134 号線 唐ヶ原 砂防林植樹祭 苗木提供 場所：国道 134 号線 唐ヶ原沿道・南側／作業：①地盤耕起、植樹準備 ②植樹イベント参加／樹種・本数：高中低木 200 本／備考：神奈川県平塚土木事務所主催	144,559円 神奈川県平塚土木事務所
34	12月9日 12月16日	平塚市内 3ヶ所植樹地 育樹 場所：国道 134 号線沿道 3ヶ所（袖ヶ浜・千石河岸・高浜台北）／作業：育樹（除草・剪定）、補植、清掃／樹種・本数：高中低木 40 本（高浜台北の補植）／備考：（1）神奈川県平塚土木事務所と連携実施。（2）12/9 は、社会福祉法人小田原支援センターと協働。	84,208円 神奈川県平塚土木事務所
35	12月11日	「どんぐりからの苗木づくり」体験授業 場所：横浜市立汲沢中学校／作業：①どんぐり播種・トロ箱づくり ②ポット苗づくり／備考：（1）同中学 1 年生 160 名参加 （2）講師：Renafo 高野義武理事長	107,481円 横浜市立汲沢中学校
36	1月13日	平塚市内 防災備蓄倉庫 植栽地 育樹 場所：神奈川県防災備蓄倉庫（平塚市北豊田）／作業：育樹（除草・剪定）、補植、清掃／樹種・本数：低木 30 本（補植）／備考：神奈川県平塚土木事務所と連携して実施。	35,014円 神奈川県平塚土木事務所
37	3月11日	開成町「かいせい平成の杜」育樹 場所：開成南小学校／同校隣接公園（神奈川県足柄上郡開成町）／作業：育樹（除草）／備考：NPO 法人パソポラサークルと連携して実施。	29,497円 神奈川県足柄上郡開成町
38	3/18、19、24 (3日)	平塚ろう学校 苗木提供 場所：神奈川県立平塚ろう学校／作業：①地盤耕起、植樹準備 ②植樹イベント参加／樹種・本数：低木中心に 89 本	145,789円 神奈川県立平塚ろう学校
39	3月29日	南相馬市鎮魂復興市民植樹祭（東北復興支援） 場所：福島県南相馬市原町区萱浜／樹種・本数：4 種類 合計 1,740 本／作業：苗木配送／備考：販売価格と学園標準価格との差額を本基金より充当、環境まちづくり NPO エコメッセ様のご寄附を活用して苗木 444 本を出荷。	261,000円 公益財団法人 瓦礫を活かす森の長城プロジェクト
合 計			11,331,659円

(注)上記の内、以下事業は、各々下記企業・団体様のご寄附を活用させて頂きました。

① No. 3、24、27、31 の 4 件の内、苗木 3,288 本（2010 年度からの累計 17,088 本）：(株) サン・ライフ様

② No. 5、11、12、13、29、35 の 6 件に係る諸経費：湘南福祉アクティビティ様、リトルツリー（研進）、(株) 研進様



2014 年度「いのちの森づくり友の会」基金収支報告 (2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日)

	科 目	金 額	備 考
収入	個人会員収入	4,199,700 円	120 名
	団体会員収入	8,731,339 円	57 団体
	いのちの森づくり グッズ売上げ収入	269,164 円	森づくりTシャツ、手漉きハガキ、植樹手拭い、どんぐり育苗キット、 どんぐりアクセサリ、カフェ・ブーケ（コーヒー）等（下掲写真）
	利息収入	445 円	普通預金利息
	前年度繰越金	1,684,115 円	（参考：前年度 1,599,116 円）
	収入合計	14,884,763 円	（参考：前年度 12,250,538 円）
支出	ポット苗購入・ 作業等への助成 (進和学園作業 会計への充当)	11,331,659 円 11/23「どんぐりブラザーズと 植樹大作戦」(湘南国際村)に 係る次の助成金・協賛金を含む。 ラッシュジャパン様：130 万円 横浜銀行様：50 万円	P. 18～19 掲載の 39 件の植樹・育樹等関連事業に要した費用。 金額は、社会福祉法人進和学園「いのちの森づくり基金」活用基準(「し んわルネッサンス」ホールに掲示)により計算。 (注)・苗木標準単価：450 円を確保。(樹高 30cm 以上) ・稲藁、竹串、藁縄等の資材：市場価格に準ずる。 ・労務工賃：最低賃金の 50%以上の時給を確保。 ・交通費その他諸経費：実費
		2,000,000 円	日本郵便様「年賀寄附金」助成金 ・友の会会報第 5 号（特別号）2,000 部発行費用 ・ポット苗づくり工賃 他
	支出合計	13,331,659 円 (累計：39,098,628 円)	(参考：前年度 10,566,423 円)
残高	次年度繰越金	1,553,104 円	(参考：前年度 1,684,115 円)

いのちの森づくりグッズ



「いのちの森づくり友の会」のご案内

進和学園「いのちの森づくり友の会」は、私達の活動にご賛同頂ける方に「友の会」の会員になって頂き、その会費を基金に充てる制度です。会費は、「友の会」より「社会福祉法人進和学園いのちの森づくり基金」に寄附されます。

会費（寄附）は、個人会員様には所得税の寄附控除（2 千円以上）、事業所会員様には損金の限度内算入が認められます。

会 員	会 費	
個 人	1 年 1 口	1,000 円 から
団 体	1 年 1 口	10,000 円 から

お申込み・お問い合わせ

進和学園ホームページ「いのちの森づくり友の会」より申込用紙をダウンロードの上、お申込み下さい。

編集後記：苗木の栽培と植樹、そして育樹活動に共に励む福祉施設の仲間達「どんぐりブラザーズ」の輪が広がっています。苗木の栽培は5団体、植樹や育樹作業の連携を含めると10団体を超えました。心の自立と経済的な自立を目指し、「いのちの森づくり」が日本の福祉を変える！との志とチャレンジ精神を抱いて、これからも皆で力を合わせて精一杯取り組んで参ります。皆様も「森づくり」を通じた「人づくり」の取り組みに、是非ご参加下さい。

「いのちの森づくり友の会」会員の皆様、並びに本プロジェクトをご支援ご協賛頂いている個人・団体・企業の皆様に、心より感謝を込めて本会報をお届けします。今後とも宜しくご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



2015 年（平成 27 年）6 月 吉日

進和学園「いのちの森づくり友の会」会報（第 6 号）

発行：社会福祉法人 進和学園「いのちの森づくり友の会」事務局

TEL：0463-58-5267 FAX:0463-58-2675

編集：(株) 研 進（障害者就業支援団体）／ 樫貴 美根光